

演奏者プロフィール



歌
木島 千夏
Chinatsu Kijima

国立音楽大学在学中に古楽に出会い、卒業後バロックを専門に活動。ロンドンのギルドホール音楽院に留学し、J.Cashのもとで声作りを学びながら様々な演奏の機会を経験する。
第30回ブルージュ国際古楽コンクールにて4位入賞。
帰国後は古楽を中心にソリストとして活動する一方、オペラ・グレゴリアーナファヴォリート、アンサンブル・レニブスなどで声の調和を目指し活動。
またスタジオ「3F・音楽室」でのランチタイムコンサートを主宰するなど、身近で楽しめるコンサート作りを続けている。
聖グレゴリオの家教会音楽科講師。



リコーダー
田中 せい子
Seiko Tanaka

上野学園中学、高校リコーダー科を経て、同大学器楽科を卒業。アムステルダム、スウェーリンク音楽院に留学、ヴァルター・ファンハウヴェ氏に師事。教授者及び演奏家ディプロマを取得し同音楽院を卒業。
今日まで日本および欧州にて活発な演奏活動を行ってきた。2018年にはリコーダー界のバイオニア、ケース・ブッケ、ヴァルター・ファンハウヴェと共にリコーダー4重奏団“オリーブコンサート”を結成し、2枚のCDをリリース、2度の来日公演(2019年, 2023年)を開催した。
上野学園大学、ヴァレーゼ音楽院、ミラノ音楽院講師を経て、現在は東京の“ストゥディオ・フォンテガラ”主宰。ミラノと東京を拠点に活動する。



リコーダー
大坪 由香
Yuka Ootsubo

福岡県立修猷館高校、桐朋学園大学古楽器科(リコーダー専攻)卒業、同大学研究科修了。オランダのデン・ハーグ王立音楽院、アムステルダム古楽アカデミー、ユトレヒト音楽院にて学ぶ。
花岡和生、Ricardo Kanji、Jeanette van Wingerden、Heiko ter Scheggetの各氏に師事。2006年度文化庁新進芸術家海外研修員。2006~2024年“西南リコーダーフェスティバル(主催:西南学院大学)”及び“FORDs(福岡オープンリコーダーデイズ)”にて、企画・構成/演奏/ワークショップを行うプレイングディレクターとして音楽監督を務めた。
“フラウタ・デ・ピコ”を主宰し、現在福岡を拠点にリコーダーによるソロ・室内楽の演奏及びレッスンやレクチャー等を行っている。



チェンバロ
森 洋子
Yoko Mori

福岡女学院高校音楽科、愛知県立芸術大学及び同大学院(ピアノ科)を修了後、桐朋学園大学研究科にてチェンバロを学ぶ。
1991年アメリカ“Southeastern Historical Keyboard Society”主催のチェンバロコンクールで優勝。
1994年~2006年 国立音楽大学非常勤講師。
'06年より函館を本拠とし、ノンジャンルユニット“Cembalism!”、シリーズ“おんがくとたいせつなもの”等を通じてチェンバロとバロック音楽の魅力を伝えることに力を注いでいる。
現在、札幌大谷大学及び函館工業高等専門学校にて非常勤講師を務める。

会場へのアクセス

7月12日(土)
福岡 / 福岡市民ホール 小ホール
(西鉄バス停「福岡市民ホール」及び「福岡市民ホール北口」下車すぐ)



Google MAP



7月26日(土)
東京 / 3F・音楽室
(JR総武線「千駄ヶ谷」駅より徒歩7分)



Google MAP

